

がいろめ倶楽部たより



●6月～7月の活動報告

◆「浅田先生を囲むやきもの談義」が開催されました。

6月8日(木) 10時～12時 本館1階展示説明室 講師: 浅田員由理事長

「猿投窯成立の背景 発掘作業で見たもの」弥生時代から古墳時代そして奈良時代・平安時代へと変わりゆく中で猿投窯の広がりや技術などの発展状況が理解できました。また、中国からの文化などが朝鮮半島を経由していたものが、直接中国から日本へ流入するような時代背景の中で猿投窯が変化していく様子などを理解しました。(参加者19名)



7月13日(木) 10時～12時 本館1階展示説明室

講師: 浅田員由理事長 「山茶碗の成立と発展」

猿投窯の終末の状況を解説されました。猿投窯の灰釉陶器が中国陶磁器の大量輸入で地位低下。この対応に、全面施釉を一部として重ね焼きで対応。さらに安価製品を目指し、山茶碗窯に転換したことを学び、政治背景の平家と源氏の動向、流通経路の庄内川や東海道・中山道の整備などの影響を受けたことも理解しました。(参加者22名)

◆やきもの大学「瀬戸・美濃焼一大窯生産の始まり」が開催されました。

6月11日(日) 10時30分～12時 本館地下1階講堂 講師: 藤澤良祐氏

前回に引き続き、遺跡・遺物研究からアプローチする講座です。窯窯から大窯・登窯へと変化する



窯の構造を始めとし、瀬戸美濃大窯で製作された碗と小皿が、年代毎に変化する形状を図式(編年表)で理解しました。また、瀬戸美濃大窯の地域が「美濃窯」「瀬戸窯」「藤岡窯」に分けられ、時代毎に変化する焼成地域の状況を、地図で示され、理解が深まりました。しかも、それらが歴史的に、佐々成政、織田信長、徳川家康と政治力の変化に伴う生産拠点として示され、一目瞭然に理解出来、新たな視点に興味を味わいました。(参加者36名)

◆考古学とやきものの集い「屋根と瓦の考古学」が開催されました。

6月23日(金) 10時30分～12時 本館1階展示説明室 講師: 大西遼氏

瓦には、たくさんの種類がある中で軒棧瓦・軒丸瓦・軒平瓦など模様のある瓦についての説明でした。軒棧瓦は、「江戸式」「大阪式」「東海式」などがあり模様によって、生産地が分かるそうです。丸瓦の瓦当部や軒平瓦の模様部分の拓本とりを大西学芸員の指導で行ない、半紙を水で濡らし、絵柄の凹凸に上手く貼り、乾いてから墨を付けその半紙をそっと外します。土器の拓本と同じようにするそうです。聞くだけでなく実習もあり、楽しい一時を過ごしました。(参加者19名)



◆「やきもの大学」美濃桃山陶の成立と展開」が開催されました。



7月9日(日) 10時30分～12時 本館地下1階講堂 講師: 加藤真司氏
美濃桃山陶と言われる、黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部について、それぞれの発生時期・用途・釉薬・器種など、写真を使って詳しく紹介され、それらが、陶片や焼成窯の発見・発掘調査からも明らかにされていく過程から、説明が始まりました。美濃窯について昭和初期から平成の今日に至るまで、詳細な調査が広範囲にわたって実施されていること。その中で、元屋敷陶器窯跡と窯ヶ根古窯跡群が学術的にも有力な遺跡で保存された経緯を学び、大窯から連房式登り窯の導入、生産された多種のやきものの形状・用途も移り変わることが紹介されました。久尻地区での器種変遷をみると、半筒碗から美濃桃山陶が成立すると黄瀬戸・瀬戸黒から志野・織部へと花咲き、終焉は織部が単純化していく状況を理解しました。(参加者 37 名)

◆「自分で作った器に多肉植物を植えてみよう！」が開催されました。

7月23日(日) 10時～12時 豊田市逢妻交流館

講師: 浅田員由理事長、岩淵寛氏

(公財)豊田市文化振興財団との共催で小・中校生を対象に開催。夏休み初日もあって、満員の盛況。植木鉢の作り方の手順を習ってから、各自制作開始。自由な発想で個性溢れる鉢が出来上がっていききました。指導者の手助けは最小限、それでも出来上がりを楽しみな作品となりました。次回は多肉植物を植え付け、夏休みの自由研究作品として、提出される予定とお聞きしました。(参加者23名)



◆「中国考古学」ついで、「殷(商)王朝-王墓と埋葬儀礼-」が開催されました。

7月28日(金) 10時30分～12時 本館1階展示説明室 講師: 田畑潤氏

19世紀中旬に甲骨に文字が発見され、その後、判読研究が進み、史記の殷王朝の記述と合致することが明らかになり、さらに甲骨文の出土地が殷墟遺跡であることが証明された経過から講座は始まりました。ト占は殷王朝で甲骨に入るヒビで祭祀や、王の行為などを占うこと。20世紀に入り、殷墟遺跡の学術発掘調査が始まり、21世紀世界遺産に登録。遺跡調査からは、墓・人・副葬品の実態が明らかになり、また、時代ごとに変化していく様子を、報告書の図や映像で解説頂きました。(参加者 38 名)



●今後の講座ご案内

◆やきもの大学

平成 29 年度(後期)講座は『染付』です。

11月25日(土)午前10時30分～12時 「中国青花磁器と海のシルクロード」 森達也氏

12月2日(土)午後1時30分～3時 「名物茶碗の変遷ー染付・荒木茶碗の意味…」 竹内順一氏

12月10日(日)午前10時30分～12時 「九州の染付の展開と瀬戸への伝播」 鈴田由起夫氏

1月13日(土)午前10時30分～12時 「瀬戸染付・講演と実演」 伊藤かおり氏・大谷昌弘氏

発行元 : 「NPO 法人 やきもの文化と芸術振興協会」事務局

住所 : 〒489-0875 瀬戸市緑町2-43

お問い合わせ: 電話番号: 090-5850-6969 (谷)

メール: yakimono.bunka@gmail.com

ホームページ: <http://yakimonobunka.jimdo.com/>